

平成 26 年度 第 1 回あわら市図書館協議会 会議録

- 1 日 時 平成 26 年 5 月 30 (金) 午後 3 時～
- 2 場 所 金津本陣・I K O S S A 3 階研修室 1
- 3 会議日程
  - 1 開 会
  - 2 委嘱状の交付
  - 3 教育長あいさつ
  - 4 委員長及び副委員長の選出
  - 5 委員長あいさつ
  - 6 協議事項
    - (1) 図書館の運営について
    - (2) 平成 25 年度図書館事業報告について
    - (3) 平成 26 年度図書館事業計画について
  - 7 その他
  - 8 閉 会
- 4 会議資料 会議次第
- 5 出席委員 土田多恵・近藤順子・前田恵美・桜井多恵子・笹原美輪子・  
岩佐 寛・脇本和俊・川崎扶美子
- 6 欠席委員 渡邊千晶
- 7 委員以外の出席者  
寺井靖高(教育長)  
(事務局) 能美進(金津図書館長)・小林孝男(芦原図書館長)  
佐々木幸枝(金津図書館長補佐)・見野部素子(芦原図書館司書)
- 8 傍聴者 なし
- 9 開 会 (事務局：開会を告げる。)
- 10 委嘱状の交付 (教育長から各委員に直接交付。)
- 11 委員長及び副委員長の選出について  
委員長に岩佐委員、副委員長に脇本委員を選出。
- 12 委員長あいさつ(岩佐委員長)
- 13 庶務報告(事務局)  
定足数(半数)について、委員 10 名中 9 名出席による会議の成立を報告する。
- 14 協議事項  
規定により、岩佐委員長が議長となり会議を進める。  
協議事項の(1) 図書館の運営について(2) 平成 25 年度図書館事業報告についての  
順に、事務局において説明を行う。(県内の他市町図書館との人口一人当たりの蔵書数、貸出冊  
数などの比較は、まだ県立図書館の集計が出ていないため、次回に報告する旨説明。)
- 15 質疑応答
  - 議 長 事務局から説明がありました、「図書館の運営について」「平成 25 年度図書館事  
業報告について」ご質問ご意見等はありませんか。
  - 事務局 金津図書館では販売用の郷土資料を、ロビーに出して展示したところ、旧図書館  
のときには年間で数冊しか売れなかったのですが、7 月から 4 月までで 22 冊売れ  
ました。
  - 委員 I 「平成 25 年度図書館事業報告」の中で、ブックトークという言葉がでてきました  
が、ブックトークと読み聞かせはどう違うのかを教えてくださいたいのですが。
  - 事務局 ブックトークとは、ある一定のテーマをたてて、何冊かの様々なジャンルの本を複  
数の聞き手に紹介することで、読み聞かせとは違います。芦原図書館では、波松小  
学校から依頼があり、学校の教室で行いました。
  - 委員 I テーマはどうやって決めるのですか。

- 事務局  
議長  
事務局  
議長  
事務局  
委員 I  
事務局  
議長
- 依頼される場合もありますし、やり手が決める場合もあります。  
ブックトークのやり方、手法もいろいろあるということでしょうか。  
読み聞かせは、文字どおり絵本などを読むのですが、ブックトークでは、本は全部は読みません。テーマにそって本の紹介をし、自分で本を読むことを勧めます。やり方、手法も本と本のつながりに手遊びを入れたり、ブックトークをする人により違ってくると思います。
- 平成25年度利用実績の中で、無線LAN利用者数(内Wifi利用者数、内パソコン利用者数)の数が出ていましたが、恥ずかしながら情報機器に弱いもので、このことについて、ご説明願えないでしょうか。
- Wifiとは、パソコンなどを無線でインターネットにつなげることで、Wifi利用者数の中で、一番多いのは、スマートフォン、次にタブレット端末です。レシートでパスワードを発行し、1時間利用できます。
- P9の年度別利用状況一覧を見ますと、私も旧芦原地区の住人で、芦原図書館へ本を借りにいかせていただいていますので気になるのですが、芦原図書館の貸し出しが、段々少なくなっているように思われます。何か理由がありますか。
- 平成23年に芦原図書館に隣接しておりました、芦原南幼稚園がなくなりました。それまでお子さんをお迎えがてらに、図書館へ来られていた若いお母さん方が来なくなったことで、図書の貸し出数が減りました。また、去年は、金津図書館が休館(4月8日~7月6日)していた間は、毎月1000冊~2000冊増となりましたが、7月7日金津図書館オープンとともに、2割減となっております。本に予約はかかるのですが、金津図書館受け取りという例が多いように思います。今後、いろいろな企画などを行い、貸出数増につなげていきたいと思えます。
- それでは、他に質問がありませんか。ないようでしたら、(3)平成26年度図書館事業計画について 事務局より説明願います。

協議事項の(3)平成26年度図書館事業計画について事務局において説明を行う。

- 議長  
委員 D  
事務局  
議長  
事務局  
委員 E  
教育長  
委員 D  
教育長  
委員 C  
事務局
- 事務局から説明がありました「平成26年度図書館事業計画について」、それ以外のことについてでもかまいませんが、ご質問ご意見等はありませんか。
- 金津図書館の金津本陣IKOSSA移転の時いろいろお話が出た3階の学習室の利用は、その後どうでしょうか。
- 夕方、土曜日、日曜日などや試験の前などは学生の利用が多いようです。監視カメラもついておりますし、特に問題が発生したということは聞いておりません。
- 図書館内の机の利用状況はどうか。
- やはり、学生の利用が多いです。
- 最初から駐車場は少ないのではないかとと言われておりましたが、今現在、やはりIKOSSAに行きましても、入れない状態です。どうにかならないものでしょうか。
- 開館当初から駐車場につきましては、ご指摘のとおり、少ないのではないかとと言われてきました。講座や催しなどIKOSSAの利用度が上がっており、又、金津神社からお叱りを受けたこともあり、6月議会で、現在ロープで囲んだ場所を買い取る予算を計上しているところです。もう少しお待ちください。
- 駐車場に関連してですが、障害者用駐車場のエリアに車を横づけしている方をよく見かけます。玄関のところは、土、日曜日など子どもの出入りも多く、危ないので、“駐車は所定の場所にしか止められません”という掲示をしっかりと欲しいと思えます。
- モラルの問題もあると思えます。
- 利用状況を見ますと、金津図書館の去年の新規登録が非常に増えていますが、そのことについて何か気がつかれたことはありますか。
- 春宮地域の登録がものすごく増えました。年齢は幅広く登録されたという感じです。また、坂井市在住の方も登録も増えました。そして、もともと登録はされてい

たのですが、あわら市になって利用のなかった方が新たに図書館利用カードを更新され図書館を利用されるようになりました。新聞を読みに来られる方も多いように思います。

委員 D  
事務局 2階の郷土歴史資料館の状況はどうでしょうか。講座等はやらないのですか。  
私は、I K O S S A 全体の館長でもありますので、お答えします。今年度は7月を皮切りに、企画展を4回、ふるさと講座を6回、年間10回くらいの催しを計画しております。

委員 C  
事務局 金津図書館の郷土資料コーナーで蓮如関係が特集されておりましたが、これからそういう特集をしていく計画などあるのですか。  
移転前には、郷土資料は館長室にありましたが、移転後はそれがみなさんに見える形になりました。特に特集を組んでいくということは今のところありません。

委員 C 先ほど、ふるさと講座を企画しているお話がありましたが、図書館においても、いろいろなイベントの年間予定を年度の初めに貼りだすなど、広報した方がよいのではありませんか。図書館は、文化の拠点であると言われていまして、本の貸出しだけでなく様々な行事もしているということがわかるのではないのでしょうか。

委員 E 先ほど、「平成26年度事業計画について」の中で、ボランティアのための読み聞かせ講座をするというお話がありました。私は、学校へ読み聞かせボランティアに月に、1、2回入らせていただいておりますが、同じ地区に住みながら、学校により、読み聞かせにバラつきがあると感じます。また、ボランティア不足ではないかとも思います。ボランティアの育成も急務ですが、あわら市内の学校の読み聞かせボランティアの状況がどうなっているのかを知りたいと思いますし、なるべく均等化されるのが望ましいと思います。ボランティアの年齢も上がってきています。

教育長 若いお母さん方ですと、年齢のいった方の読み聞かせのグループに入りにくいということもあるかもしれません。若い人は、違和感を感じることもあるのではないかと思います。新しい方が、気安く参入できる雰囲気づくりも大切でしょう。

委員 C ボランティアにたよりすぎているのではないのでしょうか。

教育長 有償ボランティアの育成が必要かもしれません。  
委員 F 私も、芦原小学校、北潟小学校の読み聞かせボランティアに入らせていただいておりますが、他の小学校の状況は全くわからないので、状況を知りたいと思います。わかりやすいように情報提供していただきたいと思います。また、各小学校の方からも情報を出して欲しいと思います。

委員 D 私も小学校の朝の読書にボランティアとしてはいらせていただいております。朝8時から15分ほどですが、子育て、またはお仕事をしつらる若いお母さんは、なかなか時間的にできないのではないかと考えます。シルバーの方の力を借りるのも一つの考えではないかと思いますが。

教育長 お元気な方にサポートしてもらえよう、見守り隊のようなアイデアを学校に出してもらえるといいです。

議長 私が学校にいた頃の話ですが、朝読書の意味として、そのあと落ち着いて授業をむかえるという意味あいもあったように思います。

委員 I 5年ほど前、小学校で教えておりました。朝の読書による子どもの読書量は増えているのでしょうか。また、その成果はどうなのでしょう。私は、かつて坂井市三国町の学校にいましたが、その頃三国町には、全学校に学校図書館司書がいました。また三国町立図書館から移動図書館が回ってきて、大変楽しみでした。どちらとも予算の関係がどうかわかりませんが、なくなってしまいました。大変有益な内容がなくなってしまい、残念に思いました。あわら市も子どもの読書推進に関する手だてを考えていって欲しいと思います。

教育長 ある学校ではノーテレビデーという日を決めて、テレビを見る時間を制限し、家に帰ってからの読書を推進しています。

委員 B 芦原中学校では、朝の読書をしている効果かどうかわかりませんが、部活動もあり忙しいのですが、10年くらい前から休み時間に本を読んでいる生徒がとて多くなったように思います。

議 長 他に質問等ございませんか。

委員 E 金津図書館で、子どもが外のトイレに走って行くのを何回か見かけました。子ども用のトイレが中にあるのをもっとアピールした方がよいのではないかと思います。

委員 H 職員の状況ですが、正規職員の司書の年齢が非常に高くなっています。若い司書資格を持った職員をいれた方がよいと思います。そうしないと、7、8年後に司書が一人もいなくなってしまう。

事務局 ご指摘のとおり、現在司書資格を持つ職員は全員50代です。

委員 D 20代、30代、40代の資格を持つ職員はいないということでしょうか。

教育長 今後、職員の採用については、要望するとともに、又、別の角度や方向からの人的確保に努めていきたいと考えております。

議長 他に何かありませんか。

16 閉 会（議長に続き、事務局から閉会を告げる。）

.....